

目次

はしがき

第一章 『般若心経』の略解 1

『般若心経』の分解説明 1

『心経』の異訳と経題 3

梵文『般若心経』と漢訳諸本 7

『般若心経』の梗概 13

第二章 『般若心経』の漢文と梵文 23

經典和訳の問題 23

『般若心経』誦出の因縁譚 26

漢訳『心経』とその書き下し文 27

『心経』の梵文和訳について 30

梵字『般若心経』と音写漢字およびローマナイズ	32
『般若心経』校訂梵文	42
梵文『般若心経』語彙	47
梵文『般若心経』和訳	56

第三章

『般若心経』要所の解説

59

『心経』の要句	59
般若波羅蜜多行の第一実践者	64
般若波羅蜜多について	65
般若波羅蜜多の別解釈	72
小乗教の分析的実有論に対する批判	74
五蘊の説について	75
十八界の説について	77
十二処の批判	79
十二因縁への反省	81
四聖諦への反省	83

無智と無所得	85
偏見とイズムからの解放	87
『心経』の中の諸法実相空観	90
諸法皆空を見つめて	93
般若波羅蜜多行と真言行実践	96
『心経』末の羯諦咒	97
「菩提薩埵は般若波羅蜜多に依る」の意義	102

第四章

般若波羅蜜多の行

108

『心経』にいう真言行	108
般若仏母とそれを求める浄行	111
無上智慧を求める実践行	114